

信州の環境にやさしい農産物認証 栽培事例（水稲）

地域（標高）	池田町（600～700m）
土壌（土性）	粘土及び砂壤土

項目	生産計画の内容	補足メモ																																													
1 栽培 状況	(1) 品目 水稲（品種： コシヒカリ ）																																														
	(2) 面積 890 a																																														
	(3) 栽培戸数又は労働力 9 件																																														
	(4) 栽培期間 平成26年 4 月 ～ 平成26年10月																																														
	(5) 収穫期間 平成26年 9 月10日頃 ～ 平成26年10月 1 日頃																																														
	(6) 収穫量	H25実績 41,160 kg（うち出荷量： 41,160 kg） H26計画 49,620 kg（うち出荷量： — kg）	H25取組面積：842 a H26取組面積：890 a																																												
2 栽培 方法	(1) 土づくり	カリ過剰のほ場が多いため、草木加里の施肥量を調整する。 鉄分が不足しているほ場が多いため、土壌改良資材を施用する。																																													
	(2) 播種	平成26年 5 月 1 日																																													
	(3) 育苗	平成26年 5 月 1 日 ～ 5 月 20 日																																													
	(4) 田植え	平成26年 5 月 20 日 ～ 6 月 18 日																																													
	(5) 施肥	<p>○化学肥料を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機質肥料を施用する。 <p>○技術を導入する際の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛ふん、米ヌカを使用し、地力を向上させる。 <p>肥料の施用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">肥料の種類</th> <th rowspan="3">施用量 (kg/10a)</th> <th colspan="4">成分量(kg)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">窒素</th> <th rowspan="2">リン酸</th> <th rowspan="2">加里</th> </tr> <tr> <th colspan="2">うち化学由来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発酵鶏糞ペレット</td> <td>90</td> <td>2.25</td> <td>0.0</td> <td>5.85</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>マイルドユーキ030</td> <td>25</td> <td>2.50</td> <td>1.175</td> <td>3.25</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>粒状 草木加里</td> <td>10</td> <td>0.00</td> <td>0.0</td> <td>0.2</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>穂肥 マイルドユーキ030</td> <td>25</td> <td>2.50</td> <td>1.175</td> <td>3.25</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>150</td> <td>7.25</td> <td>2.35</td> <td>12.55</td> <td>11.15</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>地区慣行施肥量 (kg/10a)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>低減率 (%)</td> <td>78.6%</td> </tr> </table>	肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)				窒素		リン酸	加里	うち化学由来		発酵鶏糞ペレット	90	2.25	0.0	5.85	3.15	マイルドユーキ030	25	2.50	1.175	3.25	2.5	粒状 草木加里	10	0.00	0.0	0.2	3.0	穂肥 マイルドユーキ030	25	2.50	1.175	3.25	2.5	合計	150	7.25	2.35	12.55	11.15	地区慣行施肥量 (kg/10a)	11	低減率 (%)
肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)																																													
		窒素			リン酸	加里																																									
		うち化学由来																																													
発酵鶏糞ペレット	90	2.25	0.0	5.85	3.15																																										
マイルドユーキ030	25	2.50	1.175	3.25	2.5																																										
粒状 草木加里	10	0.00	0.0	0.2	3.0																																										
穂肥 マイルドユーキ030	25	2.50	1.175	3.25	2.5																																										
合計	150	7.25	2.35	12.55	11.15																																										
地区慣行施肥量 (kg/10a)	11																																														
低減率 (%)	78.6%																																														

2 栽培方法

- (6) 病虫害防除
- 化学合成農薬を50%以上削減するために導入している具体的な技術
 - ・ 温湯種子消毒
 - ・ 中耕除草技術
 - ・ 畦草刈りを随時実施
 - 技術を導入する際の考え方
 - ・ 除草剤の使用を1回と決めているため、中耕除草技術等による除草で対応している。
 - ・ 水管理をしっかりと行い、雑草が生えるのを抑える。

病虫害防除の内容

	使用農薬名	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	地域慣行農薬使用回数
殺虫殺菌剤								
殺菌剤								5
殺虫剤								3
除草剤	トップガンLフロアブル	500ml	4	1	4	0	0	4
植調剤								
合計					4	0	0	12

農薬の使用回数	4
地区慣行農薬使用回数 (kg/10a)	12
削減率 (%)	66.7%

- (7) 雑草防除 中耕除草技術等による防除

- (8) 水管理 水管理をしっかりと行い、雑草が生えるのを抑える。

- (9) 収量の状況 前年より、やや少なめ

- (10) その他特記事項

3 販売状況

- (1) 主な販売地域 中京、関西
- (2) 販売方法 米販売業者を通じて、中京、関西方面へ販売
- (3) 県認証の活用方法 包装へ認証シールを貼付けて活用している
- (4) 実需者や消費者の反応、メリット 販売業者から認証を受けた農産物の生産を求められていることから、認証を受けたメリットがあった。

始めた動機	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬や化学肥料をより削減したお米を作るため。 ・県認証を取得してマークを表示してアピールすることで他の農産物との差別化が図られるため。
農家のコメント	農薬や化学肥料を削減した地球にやさしい農産物の生産を目指しています。

<栽培暦>

作業	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
耕起施肥									たい肥			基肥									穂肥															
育苗 ～ 収穫												○	～	◎									出穂			□										
病虫害防除												温湯消毒									畦草刈り															
除草															草																					
土づくり 施肥	カリ過剰のほ場が多いため、草木加里の施肥量を調整する。 鉄分が不足しているほ場が多いため、土壌改良資材を施用する。																																			

凡例 ○：播種 ◎：定植 □：収穫 ×：収穫終了 ∩：保温
虫：殺虫剤 菌：殺菌剤 草：除草剤

ここがポイント！

<減農薬技術>

- ・農薬の使用回数を除草剤の1回と決めており、殺虫剤や殺菌剤は使用していない。
- 除草剤についても1回を超えて使用すると地域ブランドの名前を付けて出荷することができなくなる。
- そのため、水管理をしっかりと行い、雑草の生えるのを抑えるとともに、中耕除草技術や草刈り機による畦草刈りを実施し、農薬の使用回数を減らしている。

<減化学肥料技術>

- ・有機質肥料の使用。
- ・地力を上げて施肥量を減らす。

<販売方法>

- ・販売業者を通じて中京・関西方面で販売しているが、販売業者から認証マークを付けたお米の生産を求められており、認証を受けたメリットがあった。

<栽培状況等の写真>



生育状況